

ワイヤレスパワードスピーカー

DLS-A100

取扱説明書

このたびは、ワイヤレスパワードスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜け

分解 / 改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない / 濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



通風孔をふさがない

グリルスクリーンや放熱孔をふさいだり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



AC接続コードは機器に付属の物、または指定の物以外は使用しない

火災・感電の原因となります。



屋外で使用中に雷が鳴り出したら、使用しない

落雷の原因となります。使用を中止し、機器から離れてください。



ワイヤレスマイクを危険作業の誘導などに使用しない

場所や距離や周囲の雑音条件によっては電波が到達しなかったり、瞬間的に電波が遮られたりして放送が途切れる場合があります。作業の指示などが完全には伝達できない場合があります。事故の原因となることがあります。



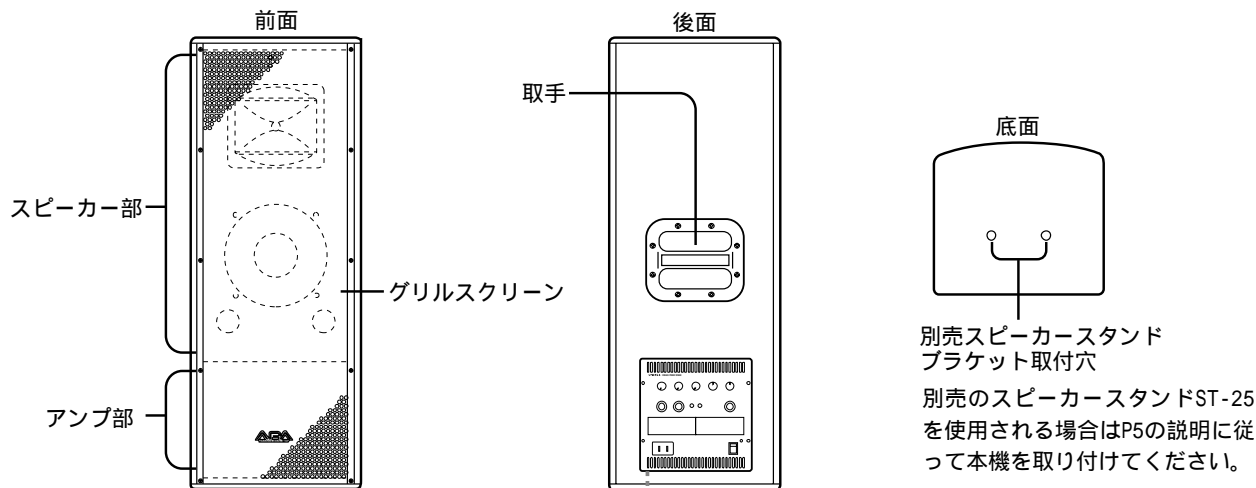


注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

| | |
|---|--|
| <p>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。</p> | |
| <p>不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> | |
| <p>電源コードを熱器具に近づけない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> | |
| <p>異常に温度が高くなる場所に放置しない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> | |
| <p>長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災の原因となることがあります。</p> |   <p>プラグをコンセントから抜く</p> |
| <p>通行などの障害となる場所には設置しない また配線コードを引っ掛けるようなコードの引回しはしないでください。引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。</p> | |
| <p>配線は、機器の電源を切っておこなう 感電の原因となることがあります。</p> | |
| <p>お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。</p> |  <p>プラグをコンセントから抜く</p> |
| <p>電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。</p> | |
| <p>長時間音が歪んだ状態で使わない スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。</p> | |
| <p>濡れた手で、電源コードを抜き差ししない 感電の原因となります。</p> | |
| <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> | |
| <p>移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。</p> |  <p>プラグをコンセントから抜く</p> |
| <p>磁気テープなどを近づけない フロッピーディスクやテープなどの情報が消えます。</p> | |
| <p>この機器に乗ったり足場代わりにしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。</p> | |
| <p>機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。</p> | |
| <p>1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。</p> | |

各部の名称と説明



ライン音量調節つまみ

ライン入力ピンジャックに接続された機器の音量を調節してください。

マイク2音量調節つまみ

マイク2入力ジャックに接続された有線マイクの音量を調節してください。

マイク1音量調節つまみ

マイク1入力ジャックに接続された有線マイクの音量を調節してください。

マイク1入力ジャック

(-62dBV 600 不平衡)
有線マイクのプラグを接続してください。

マイク2入力ジャック

(-62dBV 600 不平衡)
有線マイクのプラグを接続してください。

AC電源入力端子

付属のA C接続コードを使用し、ACコンセントに接続してください。



警告

付属又は指定の接続コード以外のご使用にならないでください。火災・感電の原因になります。

ワイヤレスチューナーユニット挿入口

ワイヤレスマイクを使用される場合はP6の説明に従って別売のワイヤレスチューナーユニットを組み込んでください。(2台組込可能)

操作部

低音音質調節つまみ

右回りで低音が増強され、左回りで低音が減衰されます。中央のクリック位置が標準です。

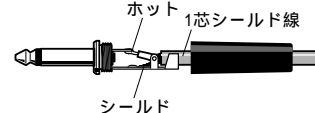
高音音質調節つまみ

右回りで高音が増強され、左回りで高音が減衰されます。中央のクリック位置が標準です。

ライン出力ジャック

(0dBV 10k 不平衡)
本機を増設する場合や放送内容を録音するときに使用してください。

ライン出力接続用 2極大形プラグ結線図



ライン入力ピンジャック

(-22dBV 10k 不平衡)
カセットプレーヤーやCDプレーヤーなどのライン出力を接続してください。ワイヤレスマイク、または有線マイクとのミキシング放送がおこなえます。又、モノラル出力を接続する場合は「L/MONO」側のピンジャックに接続してください。

電源表示灯

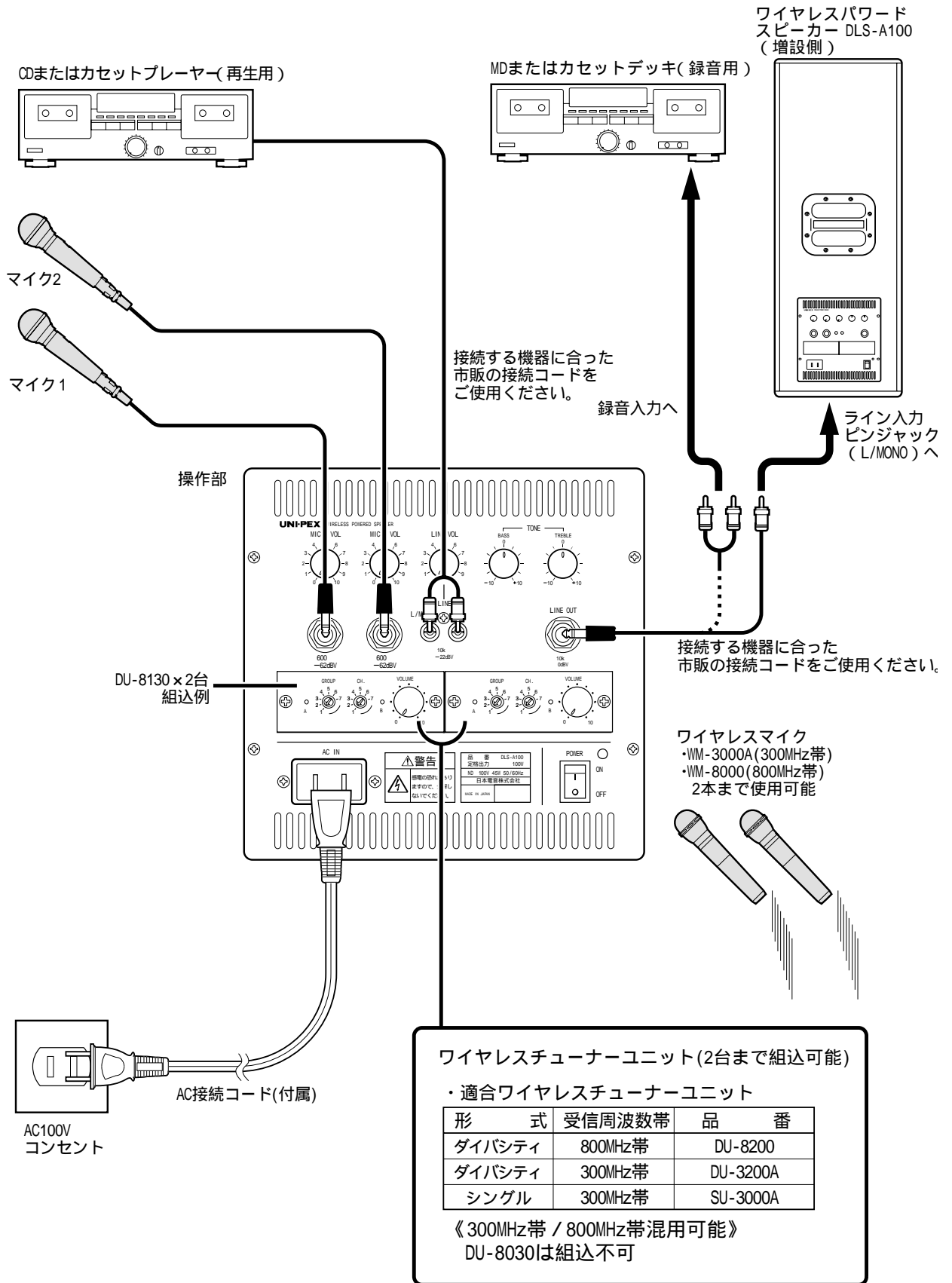
電源が入りますと緑色に点灯します。

電源スイッチ

このスイッチの上部を押すと電源が入り電源表示灯が緑色に点灯します。電源を切るときはスイッチの下部を押してください。

接続例

(詳しくは販売店などへご相談ください。)



設置のしかた

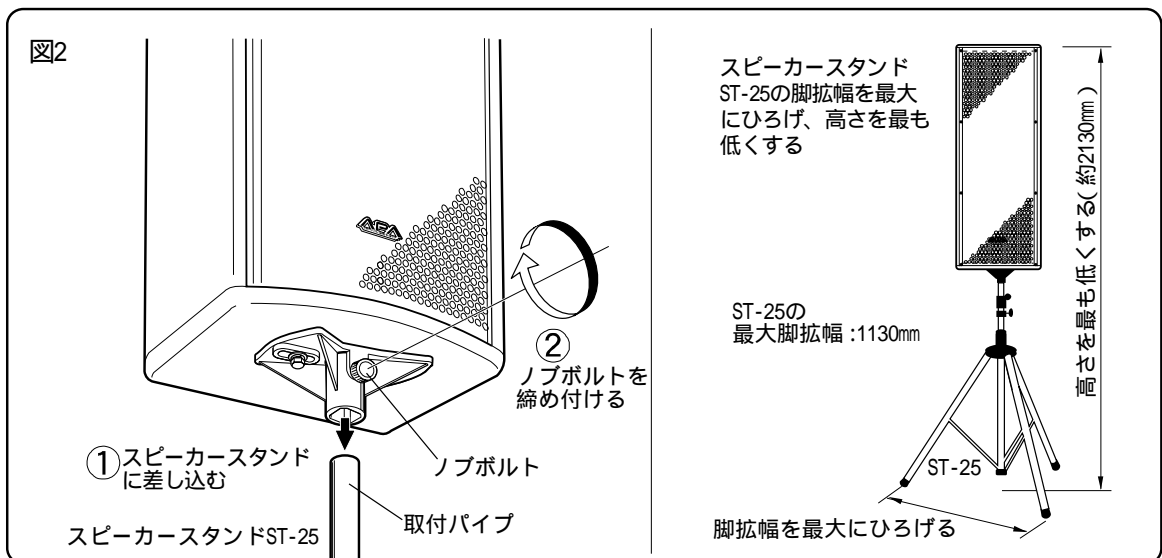
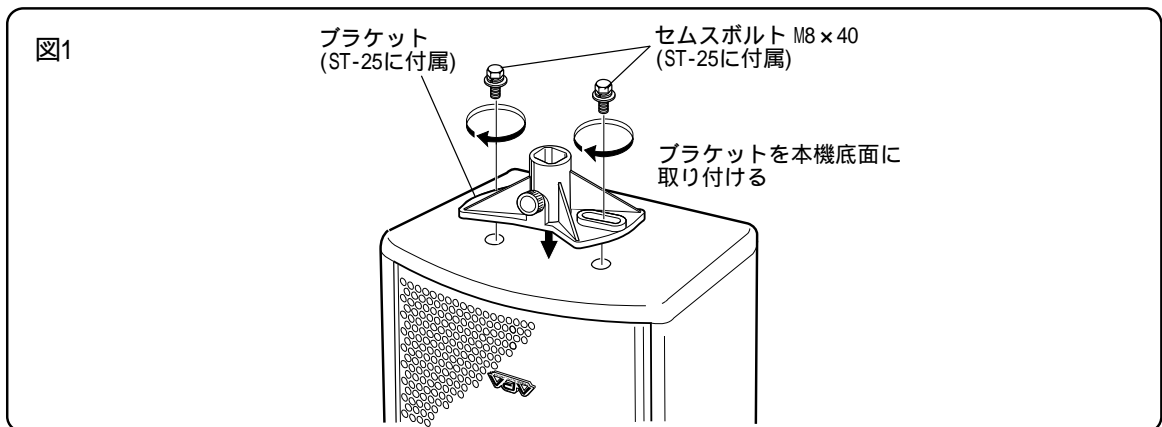
設置・使用上のご注意

本機のグリルスクリーンや放熱孔をふさがないように前後に十分な空間を確保してください。
本機を水滴または飛沫のかかる場所で使用しないでください。
本機を雑音発生の原因になる機器の近くには設置しないでください。
高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。

別売スピーカースタンドST-25に取り付ける場合

警告 本機をスピーカースタンドに取り付ける場合は、下記の説明に従って正しく取り付けてください。特に使用するねじ類とその締付には充分注意してください。落下によりけがの原因になります。

本機を別売のスピーカースタンドST-25に取り付ける場合は図1のように本機底面にブラケット(ST-25に付属)を取り付けてください。取り付けにはST-25に付属のセムスポルトを使用してください。(図1参照)
本機に取り付けたブラケットをST-25の取付パイプに差し込み、ノブボルトを締め付け固定してください。(図2参照)



警告 本機をスピーカースタンドST-25に取り付けて設置される場合は、スタンドの脚を最大にひろげ、高さを最も低い位置に設定してください。また、強風、突風には充分注意してください。転倒によりけがの原因になります。

チューナーユニット(別売)の組み込みかた

本機は別売のワイヤレスチューナーユニットを2台まで組み込むことができます。(下表参照)
取付は販売店または、最寄りのユニベックス営業所にご相談ください。

適合ワイヤレスチューナーユニット

| 形 式 | 受信周波数帯 | 品 番 |
|--------|---------|----------|
| ダイバシティ | 800MHz帯 | DU-8200 |
| ダイバシティ | 300MHz帯 | DU-3200A |
| シングル | 300MHz帯 | SU-3000A |

DU-8030は組込不可

1. ブランクパネルをはずす

本機の電源プラグをコンセントから抜き、ブランクパネルをはずしてください。ブランクパネルの裏側には4Pコネクターと同軸コネクター(A)が差し込まれていますので、それらをブランクパネルから取りはずしてください。(図3参照)

警告 ご使用中は、感電の恐れがありますので、ブランクパネルをはずさないでください。ブランクパネルをはずすときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 各コネクターをワイヤレスチューナーユニットに接続する

ダイバシティワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合

図4のように本機側とユニット側の同軸コネクター及び4Pコネクターを接続してください。同軸コネクターは必ず、同じ表示(A・B)のものと接続してください。また同軸コネクター(B)の保護チューブは接続前にはずしてください。(図5参照)

シングルワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合

同軸コネクター(A)と4Pコネクターを接続してください。(図6参照)
同軸コネクター(B)は接続しませんので、保護チューブをはずさないでください。

組み込まれるワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書もよくご覧ください。

3. ワイヤレスチューナーユニットを組み込む

ワイヤレスチューナーユニットを本機のワイヤレスチューナーユニット挿入口に挿入し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。(図7参照)

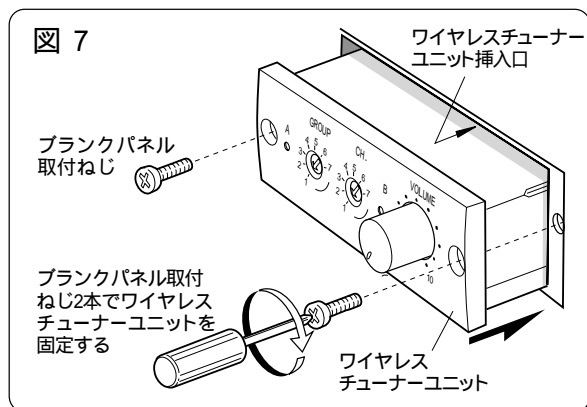


図 3

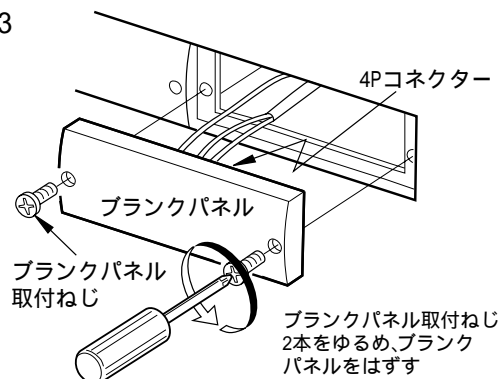


図 4

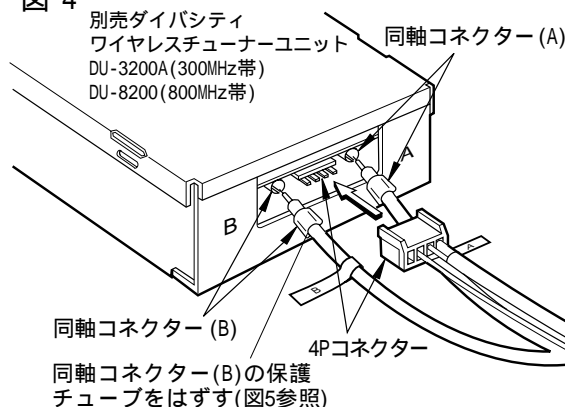


図 5

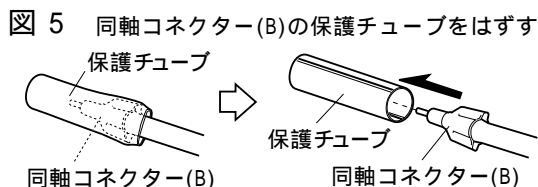
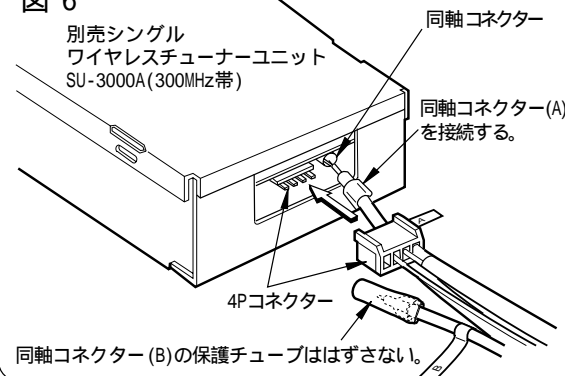


図 6



ご注意.. ブランクパネルから4Pコネクターをはずす際には、ブランクパネルのロックのつめをはずしてから取りはずしてください。またワイヤレスチューナーユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

ワイヤレスマイク使用時のご注意

ワイヤレスマイク、ワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

本機にはアンテナが内蔵されています。ワイヤレスマイクを使用する前に、必ずワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこない、最もデッドポイントの少ない場所に本機を設置してください。

雑音が入る場合は、ワイヤレスマイクを本機に近づけてご使用ください。

そのときの距離を2m～10mにしてください。

ワイヤレスマイクを複数本ご使用の場合は、マイクロホンどうしは50cm以上離してください。

注)使用中のワイヤレスマイクと同一周波数の他のワイヤレスマイクを「ON」にすると「ピー」という音がすることがあります。チャンネル(周波数)を変更してご使用ください。

付属の穴キャップについて

本機底面には別売のスピーカースタンド ST-25に取り付けるためのねじ穴が2ヶ所あります。

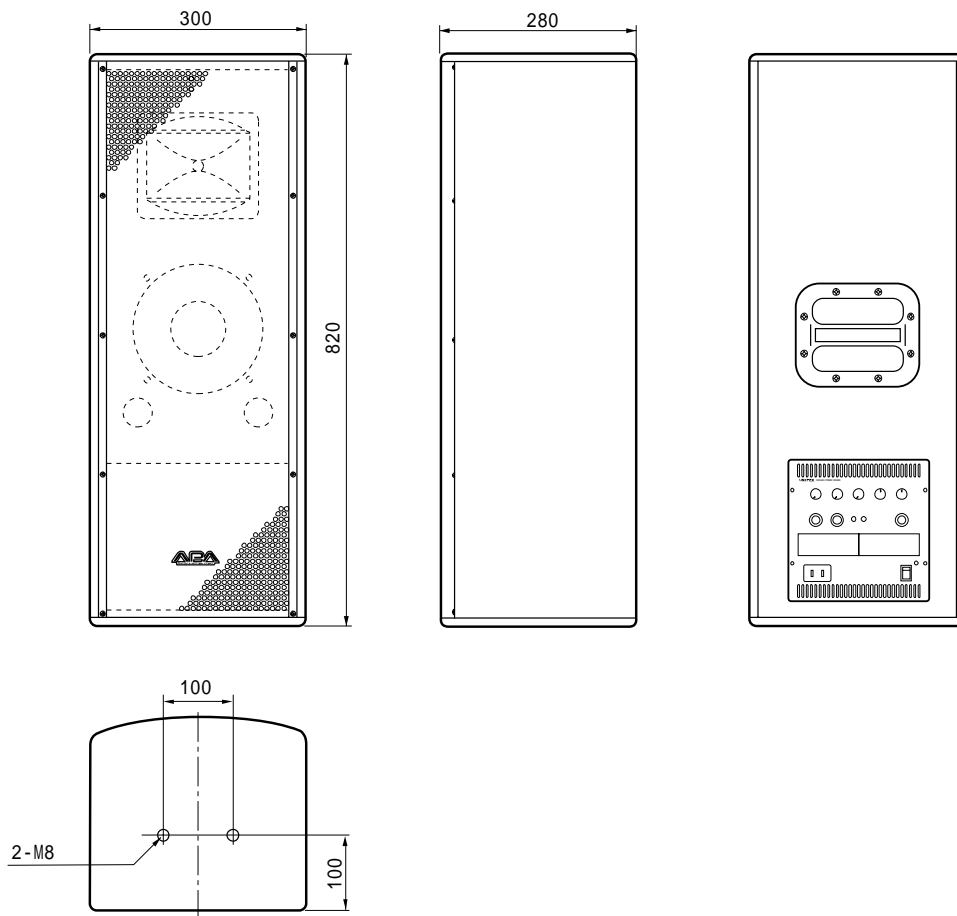
設置方法によりそのねじ穴を使用しない場合は、付属の穴キャップをねじ穴に取り付けてください。

定格

| | |
|---------------|--|
| 品番 | DLS-A100 |
| 使用電源 | AC100V 50/60Hz |
| 定格消費電力 | 45 W (電気用品取締法による測定方法に基づく) |
| 消費電流 | 3 A (定格出力時) |
| 定格出力 | 100W / 4 |
| 総合出力音圧レベル | 108dB (定格出力時) |
| 再生周波数帯域 | 80Hz～17kHz 偏差20dB(ライン入力 1W出力時) |
| 入力感度及びインピーダンス | マイク1、2 : -62dBV ±3dB 600 不平衡 音量調節器付 2極大形ジャック ライン : -22dBV ±3dB 10k 不平衡 音量調節器付 ピンジャック チューナー : -26dBV ±3dB 10k 不平衡 |
| 信号対雑音比 | 60dB以上 |
| 内蔵スピーカー | 20 cmコーン形ウーハー1個、 3.5 cmダイヤフラムツイーター(定指向性ホーン付)1個 |
| ライン出力 | 0dBV ±3dB 10k 不平衡 2極大形ジャック |
| アンテナ方式 | 内蔵アンテナ×2(ダイバシティ) |
| 動作表示 | 電源 : LED(緑) |
| 使用温度範囲 | 0 ~ +40 |
| 外装 | ケース : 木製 塗装仕上げ マンセルN3 近似色 ダークグレー グリルスクリーン : パンチングメタル 塗装仕上げ マンセルN3 近似色 ダークグレー |
| 寸法 | 幅300 mm 高さ820 mm 奥行280 mm |
| 質量 | 約 20kg |
| 付属品 | 取扱説明書(保証書付)1、営業所一覧表 1、穴キャップ 2、ACコード 1 |

外觀寸法図

(単位 mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペック株式会社

RKTDLA100-H0-0